

県保険医協会 歯科会員「医療物資の在庫・供給状況緊急アンケート」(最終集計)

# 先行き不安 グローブ「入荷時期未定」8割超 仕入れ・物価高騰・賃上げに苦慮 「やっていけない」

価格転嫁できない医療機関に、財政支援は必須

神奈川県保険医協会 理事長 田辺 由紀夫

神奈川県内の開業医師・歯科医師約 6,500 名を中心に構成する神奈川県保険医協会は、当会会員から医療物資不足の声が寄せられたことを踏まえ、歯科会員へ「医療物資の在庫・供給状況緊急アンケート」を実施しました。このほど最終集計を行いましたので、以下に報告します（調査結果の詳細はお問合せください）。

【調査概況】 〈実施期間〉4月24日(金)～5月11日(月) 〈設問〉医療用手袋(グローブ)・マスク・エプロン・注射器・滅菌バッグの在庫状況、メーカーなどからの供給状況、価格高騰について  
〈方法〉歯科会員 1,639 名へ FAX もしくはメール、〈回答数〉161、〈回答率〉9.8%

## 【結果】 医療用手袋(グローブ)について

供給状況 : 「入荷時期未定」 86.1%  
「通常通り入荷」3.2%、「継続的に入荷」10.8%

在庫状況 : 「枯渇している」 26.7%  
「充足している」17.4%、「不足気味」55.9%

値上がり幅 : 「10%程度」以上※ 81.5%

※内訳(「10%程度」30.5%、「30%程度」29.1%、「50%程度」14.6%、「それ以上」7.3%、「変わらない」18.5%)における、「変わらない」以外の合計。

調査した医療物資5種類の中で、供給状況・在庫状況・値上がり幅のいずれにおいても最も深刻だったのは医療用手袋でした。順次進められている政府対応に期待します。

他方でメーカーからの供給状況は、調査した全ての医療物資で「入荷時期未定」が5割を超えました。医療機関の在庫状況は、滅菌バッグは回答者の約3割、エプロンと注射器は約2割が既に「枯渇している」と答えました。「グローブ、エプロンが、どのサイトも販売未定のところが多く、今はまだ足りているが、この状況がいつまで続くのかわからないことが一番心配です」等、先行き不安の声が目立ちました。

保険医協会では神奈川県に対し、医療資材等の備蓄放出の検討を求めています。政府には小規模医療機関へ更に目を配り、卸売業者への働きかけを含めた“流通の目詰まり解消”や“適切な情報発信”に期待します。

### ◆医療用手袋、「50%程度」以上の値上がり幅が2割 価格高騰に追い付かぬ診療報酬改定

診療報酬は6月に改定されますが、この改定率(上り幅。2年間で全体2.22%を予定)決定は昨年12月。2月に緊張が高まった中東情勢以後の物価高は反映されません。“「歯科関連」倒産が過去20年で最多”の現下、価格転嫁できない医療機関へ支援は必須です。

値上がり幅はいずれの医療物資も「変わらない」は半数以下で、値上がり傾向。“50%程度以上”は▽医療用手袋21.9%、▽エプロン11.0%、▽滅菌バッグ9.3%、▽マスク8.9%、▽注射器5.1%—でした。

「出荷調整と価格上昇が同時に起こっており、医療継続の困難及び、コスト増に伴うキャッシュフローの悪化が心配です」、「診療と材料の仕入れのため苦慮し、物価高騰し従業員にも賃金を上げなければならず、開業医はやっていけない」といった声のほか、供給不安に伴う買い占めへの懸念や、過度な不安を煽らない報道への期待も寄せられています。